



# 河合の弓引き行事

特集

県民ニュース

奈良を知ろう

暮らしに役立つ

お知らせ

## 上北山村 景德寺

### 村の1年の安泰を願う

上北山村河合地区では、村の1年の無病息災や五穀豊穡を祈願する弓引き行事が行われています。通過儀礼としての側面も強く、かつては射手を経て青年の仲間入りを果たしました。厳格な作法が特徴で、地区の住民により代々受け継がれてきました。

### 古式ゆかしい伝統行事

弓引き行事では4人の男子が射手をつとめます。射手はそれぞれ禰宜、上殿、下殿、射返しと呼ばれる役割があり、射返しは村の青年団の代表がつとめます。射返し以外の役割は全て村の小学6年生から中学3年生の男子が担います。

1月2日に「矢始め」という稽古始めがあり、その後7日までの6日間、朝から夜まで練習が行われます。7日には「的踏み」と呼ばれる的づくりが地区の住民によって行われます。



住職と的

8日早朝に頭屋（かつては年預と呼ばれ、村の1年間の行事とお寺

上北山村河合にある景德寺で毎年1月8日に行われる伝統行事です。河合弓引き行事保存会会長の山室さん（上北山村長）にお話を伺いました。

### 継続への努力と想い

以前は、射手は河合地区の子どもたちが行っていました。しかし、少子化の影響により担い手が減少したため、15年程前からは河合地区に加え、上北山村の子どもたちも射手をつとめています。さらに、地域を離れた高校生などの若者にも射手をつとめてもらう取り組みを行っています。

また見学ツアーを企画し、行事の終了後に弓引きの体験をもらい、村外の人にも弓引き行事に関心を持ってもらえるような活動もしています。

「若者に興味を持ってもらって、地域に伝わる行事を後世に伝えてほしい」との想いから、今後も行事を継続するための努力を続けていきたいです。

河合の弓引き行事

1月8日

所 上北山村河合136



無形民俗文化財については、県文化財保存課 ☎0742-27-8124 FAX0742-27-5386